

平成30年度第1回みやま市教育委員会定例会会議録

- ◆召集日時 平成30年4月16日 午後2時00分
- ◆召集場所 みやま市役所山川支所 2階 第4会議室

1. 出席教育長職務代理者・教育委員（4名）

- ・教育長職務代理者 井上 正明
- ・委員 樺島 靖子
- ・委員 湯汲 和代
- ・委員 宮本 篤

2. 欠席委員（なし）

3. 事務局出席者（17名）

- | | |
|----------------------------|--------|
| ・教育部長 | 野田 圭一郎 |
| ・学校教育課長 | 加藤 武美 |
| ・社会教育課長 | 山田 利長 |
| ・指導室長 | 屋形 朋子 |
| ・学校教育課課長補佐兼
学校教育係学務担当係長 | 松尾 郁代 |
| ・総務係長 | 小柳 るみ |
| ・施設係長 | 岡 俊幸 |
| ・学校給食担当係長 | 松尾 一幸 |
| ・学校再編推進係長 | 河野 成嗣 |
| ・社会教育課課長補佐兼
社会教育担当係長 | 森 英臣 |
| ・地域学校協働活動推進担当係長 | 荒木 洋子 |
| ・指導室主任指導主事 | 待鳥 博人 |
| ・指導室指導主事 | 伊井 和子 |
| ・指導室指導主事 | 馬場 英二 |
| ・指導室指導主事 | 宮地 祥太 |
| ・教育研究所長 | 稗田 賢次 |
| ・主任社会教育主事 | 江上 靖則 |

4. 議事日程

- (1) 会期の決定について
- (2) 会議録作成者の指名について

- (3) 会議録署名委員の指名について
 - (4) 議案第1号 みやま市立中学校の少人数指導体制整備特別教員規程の一部を改正する訓令の制定について
 - (5) 報告事項
 - (6) 次回教育委員会について
-

【午後2時00分 開会】

【職務代理者】 平成30年度より教育長職務代理者として色々な形で挨拶をさせていただいているが、職務を全うしていかなければならないと思っている。

働き方改革という話が出ているが、今一番職場で大事なことは人間関係であり、二番目に仕事の内容で、三番目に勤務時間と言われている。勤務時間を短くして良い仕事ができるのかは別の話ではないか等を考えながらも、常に児童生徒のために仕事をするという事を忘れずに取り組んでいきたい。

ただいまから、平成30年度第1回みやま市教育委員会定例会を開会いたします。

○日程第1 第1回みやま市教育委員会定例会の会期は平成30年4月16日の1日間とする。

・・・全員同意

○日程第2 会議録作成者は総務係長小柳るみとする。

・・・全員同意

○日程第3 会議録署名委員の指名については教育長職務代理者と樺島靖子委員とする。

・・・全員同意

○日程第4 議案第1号
○みやま市立中学校の少人数指導体制整備特別教員規程の一部を改正する訓令の制定について

【学校教育課課長補佐】－提案理由の説明－

【職務代理者】 ・質疑等ありませんか。

「質疑なし」

【職務代理者】 ・議案どおり可決するものとしてよろしいか。

「異議なし」

・・・可決

○日程第5 報告事項

○教育部長

- 【教育部長】
- ・3月議会にて宮本教育委員の同意及び議決の報告。補正予算では、道の駅みやまからの寄附金150万円を計上し可決した。
 - ・3/31 発生の市内小学校新6年生児童の家出について報告。
 - ・前回臨時会以降の行事報告（4/2 教育委員会事務局職員及び教職員管理職等や新規採用者の辞令交付式、4/6～15 春の交通安全県民運動実施、4/9 中学校入学式及び4/10 小学校入学式の出席お礼、4/11 J Aみなみ筑後より小学校教材本及び4/13 みやま市安全運転運行管理協会より中学生に反射タスキを寄贈していただいた。）
 - ・今後の予定について、4月は各種総会及び5月は各小学校及び支館運動会開催予定。

○学校教育課

- 【学校教育課長】・定例会添付資料P1～19の説明

【学校教育課課長補佐】

- ・資料P19 小中学校児童生徒数の報告（外部秘）。

- 【職務代理者】 ・質疑等ありませんか。

- 【樺島委員】 ・山川中に特別支援学級の知的クラスが新設されたのは2年生だと思うが、1年生の時は通常の学級に在籍していたのか。

【学校教育課課長補佐】

- ・通常学級での対応は厳しかったため、1年間は情緒のクラスで個別のカリキュラムにて対応していたところである。

- 【樺島委員】 ・SSWはどなたになったのか。

【学校教育課課長補佐】

- ・平成30年3月まで福岡県立柳河特別支援学校で教諭をされていた後藤先生にお願いしている。しかし、事案の引継ぎ等もあるため、1年間は前任の堀川先生にもご協力いただくようにしている。

【職務代理者】 ・私立中学校へ進学した児童は何名だったのか。

【学校教育課課長補佐】

・平成29年度は22名である。

【職務代理者】 ・私立中学校に進学された22名についてどのように考えるのか。

【指導室長】 ・みやま市の公立中学校の良さを小学校でもアピールして取り組んでいるし、中学校でも教諭が小学校へ行って授業を行ない、魅力を一アピールすることを継続してきている。しかし、保護者が子どもの将来を考えて進学先を決められるケースもあるため、懇談会等で話しているが強くは言えないのが現状である。

【学校再編推進係長】

・学校再編第2グループの経過報告について、本郷、上庄、下庄の3校区の区長会長、上庄小及び下庄小の各PTA会長に出席いただき、3校区合同会議を開催し、平成32年4月の統合校開校に向けた3校学校統合協議会の平成30年7月発足に向け協議を行ってきたところである。

○指導室

【指導室長】 ・資料P20-22 平成30年度学校訪問について説明。
・資料P23 平成30年度普通救命講習会について説明。
・資料P24-25 適応指導教室「さくら」の相談状況・利用状況報告。
・資料P26-27 みやま市教育研究所運営委員・研究員等の報告。

【職務代理者】 ・質疑等ありませんか。

【樺島委員】 ・電子黒板の活用状況について各学校別にデータを取っているのか。

【指導室長】 ・データとして取っていない。桜舞館小は電子黒板を沢山購入し中心校となっているが、年度末に配置された学校もあるため、それから中心的に活用する教諭等を決めての研修会を行っており、各学校で電子黒板をどのような教育活動に利活用するのが良いかを実践的に進めているところである。

【樺島委員】 ・電子黒板は、どのような活用をされているのか。

【指導室長】 ・電子黒板はソフトがある場合もあるが、児童が記入したノート等を直接写し出す書画カメラというのがあり、それに書き込んだりすることも出来る。日常的にどの教科でも有効に活用することが出来る。

【宮本委員】 ・桜舞館小学校で電子黒板を先進的に取り組まれていると思うが、電子黒板を導入して児童の反応はどのようなのか。

【教育研究所長】 ・分かりやすいため、児童の反応は良い。

○社会教育課

【社会教育課長】 ・校区公民館や文化スポーツ団体の総会が開催されている。
・健康長寿を支える効力学習の推進として、各係の観点から市民の皆様生き甲斐を感じていただけるような取り組みを計画していきたい。
・今年度から新たに地域学校協働活動推進担当の係長を配置しているため、地域と学校の協働活動について事業の充実を図っていききたい。

【社会教育主事】 ・お手元に、「みやま市学校支援まとめ」の資料を配布しているが、学校支援地域本部を平成27年11月位から立ち上げて平成29年度まで実質2年、文部科学省の事業指定で学校・家庭・地域連携協働推進事業を受けて、学校教育活動の支援のために学校支援ボランティアの整備や資質向上の研修会及び小中学校のサマースクールへの学習支援派遣等を実施してきたところである。
本年度からは、今後の学校・地域の在り方等を進める地域学校協働活動事業へと内容の充実を図っていききたいと考えている。

「地域と共にある学校づくり」については、学校教育を中心にコミュニティ・スクールを推進し、同時に「学校を核とした地域づくり」について、地域学校協働活動を車の両輪として進めていきたい。

○日程第6 次回教育委員会について

◎ 次回定例会 平成30年5月15日（火）午後2時00分～

【職務代理者】 これで本日の日程は全部終了しました。会議を閉じます。平成30年度第1回みやま市教育委員会定例会を閉会します。

【午後 3 時 0 7 分 閉会】